

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年 2月 7日 (木)

2 確認箇所

1号機タービン建屋

3 確認項目

1号機緊急時用窒素封入ホースの変形事象の対策状況

4 確認結果の概要

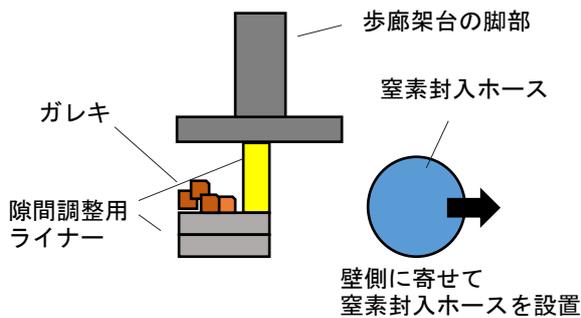
平成30年12月26日の東京電力による窒素封入設備の監視パトロールにおいて、1号機緊急時用窒素封入ホースの一部が歩廊架台に踏まれた状態にあることが発見されたことから、東京電力から事象の概要や対策の実施状況を聞き取るとともに現場を確認した。

(聴取内容)

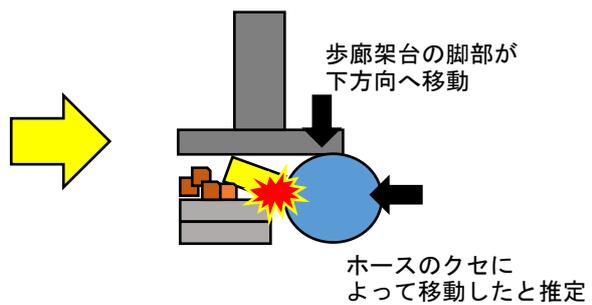
- 平成30年11月頃、歩廊を設置する際にその歩廊の足場の下にガレキがあったため、金属製で平板状の隙間調整用ライナーを縦の状態に設置し、窒素封入ホースに影響を及ぼさないよう設置した(図1)。その後、ホースが足場の下に移動し、さらに縦に設置したライナーが倒れてしまい、足場の荷重が直接ホースにかかる状態になった(図2)。この状態のホースを監視パトロールにおいて発見した。なお、ホースは多少変形していたものの、全ての荷重がホースに加わっていたわけではなく、窒素封入の機能に問題はなかった。
- 対策としては、足場の下にライナーを横にして設置し、さらに接着剤でライナーと足場を固定するとともに窒素封入ホースを足場の外側に移動し、結束バンドで固縛した。(1月8日完了)

(現場の状況)

- 窒素封入ホースは歩廊の足場の外側にあり、結束バンドにより足場に固縛されていた。(写真1)



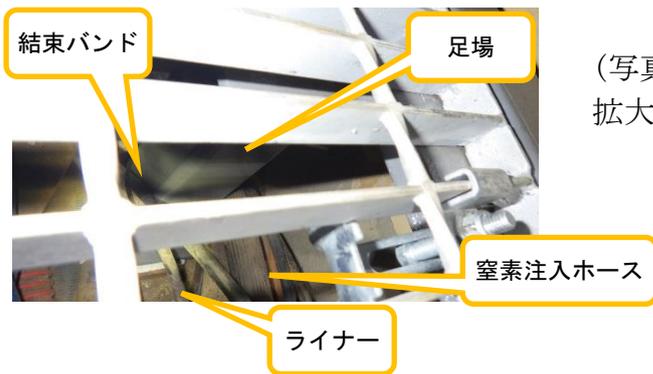
(図1) 歩廊設置時のイメージ図



(図2) ホース変形時のイメージ図



(写真 1 - 1) 赤丸部分が事象発生箇所



(写真 1 - 2) (写真 1 - 1) の赤丸部分を拡大。

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。